

# つばたこ

議会だより

No.139

2016.10.5



9月会議	川井梨紗子選手の快挙をたたえる	2P
クローズアップ	B型肝炎ワクチンを定期接種に追加	4P
委員会審議	北陸新幹線開業に伴う固定資産税の増収	5P
いっぱん質問	災害時備蓄品の補充状況はなど 10人が登壇	8P
あの質問のゆくえ	小中学校の熱中症対策を問うなど	19P

ぼくも聖火ランナー  
(笠谷保育園)



## 9月会議

## リオ五輪で金メダル!!

川井梨紗子選手  
快挙をたたたえる

9月会議を5日から12日までの会議期間で開催した。

初日に一般会計・特別会計補正予算、条例の改正などを含む10件、決算の認定12件の議案が提出された。引き続き決算審査特別委員会を設置し、27年度一般会計などの決算審査を付託、町政全般について10人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願1件を採択、2件を不採択とし、意見書1件を可決した。続いて、教育委員会委員の任命について同意した。

12日には、酒井義光副議長の辞職に伴い副議長選挙が行われ、角井外喜雄氏が13票を獲得して当選し、就任した。副議長の交代に伴い、県森林公園活性化対策特別委員会・議会改革検討特別委員会委員の選任、総務常任委員会・大河ドラマ誘致推進特別委員会の副委員長互選が行われた。

## リ

オデジャネイロで開催されたオリンピック競技大会レスリング女子

63kg級に出場した、当町出身の川井梨紗子選手が見事金メダルを獲得した。この栄誉をたたえ、町では津幡町スポーツ栄誉賞を贈るとともに祝賀行事を開催した。

町スポーツ栄誉賞は、新たに町表彰条例施行規則に追加したもので、町のスポーツ賞授与基準において最高位の栄誉ある表彰である。

9月11日、役場からシグナスまで川井選手がオープンカーに乗ってパレードを行い、沿道に集まった約1万1000人が祝福した。その後、シグナスで町スポーツ栄誉賞の贈呈式と祝賀パーティーが行われた。

これらの祝賀行事などに係る費用として、今会議では189万円を補正した。不足分は次月以降の会議時に追加で補正する。

# 一般会計補正予算

## 1億6936万円を可決 (全員賛成)

### 一般会計総額129億390万円に

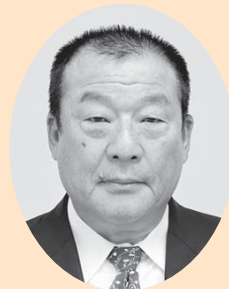


▲金メダルを胸に堂々の凱旋がいせん

## 一新・委員会委員

第31代副議長に

角井外喜雄氏



◆県森林公園活性化

対策特別委員会

委員 角井外喜雄

◆議会改革検討

特別委員会

委員長 角井外喜雄  
委員 荒井 克

◆総務常任委員会

副委員長 河上 孝夫

◆大河ドラマ誘致推進

特別委員会

副委員長 角井外喜雄

こんなことに使われます  
**クローズアップ**

9月補正予算で新たに行われる事業など、  
一部を紹介します。

▶すくすく育ててね



**B型肝炎ワクチンを  
定期接種に追加**

**332万円**

平成28年10月から、  
B型肝炎予防接種が  
乳幼児の定期予防接  
種に追加となる。対  
象は28年4月以降に  
生まれた0歳児で、  
1歳になる前に3回  
の接種を終える必要  
がある。



**防災行政無線用  
光ケーブルを移設**

**36万円**

津幡地区内の電柱建て替えに伴い、  
光ケーブルを移設する。北陸電力の  
電柱を使用して敷設しているため、  
移設費を町で負担する。

**国保システム  
開発委託料**

**162万円**

平成30年4月からの国保運営の  
都道府県化に伴い、市町ごとの国  
保事業費納付金などの試算、算定  
に必要なデータを石川県に提供す  
るため、基幹システムを改修する。

**産地パワーアップ  
事業に補助**

**4542万円**

産地の高収益化に向けた取り組  
みを総合的に支援する。

**Q** 補助対象事業者の取り組み内  
容は。

**A** 2農業法人が環境保全型の水  
稲生産の拡大と生産コスト10  
%削減を目指す。整備事業、  
生産支援事業として国から50  
%、町から5%の補助がある。

**人 事**

**選任された委員**

教育委員会委員

(平成28年10月1日)

32年9月30日



鳥越 千春氏

(加賀爪)  
再任

(全員賛成)

**決算審査特別委員会**

平成27年度一般会計決算ほ  
か特別会計8件、事業会計3  
件の決算審査をする。

委員長 角井外喜雄  
副委員長 荒井 克  
委員 森川 章

竹内 竜也  
八十嶋孝司  
森山 時夫  
河上 孝夫



# 委員会 審 議

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総 務** (総務・財政・税務・議会・監査・消防など)

◎荒井 克◎角井外喜雄 西村 稔 塩谷道子 向 正則 河上孝夫

**文教福祉** (民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院)

◎八十嶋孝司◎道下政博 竹内竜也 酒井義光 洲崎正昭

**産業建設** (土木・農林・労働・商工・上下水道)

◎森山時夫◎谷口正一 森川 章 井上新太郎 多賀吉一  
(◎委員長 ○副委員長)

## 文教福祉

### 私立幼稚園就園奨励費

#### 補助金を増額

-学校教育課-



▲充実される幼児教育

**Q** 増額の理由は。

**A** 国庫補助限度額の改正および対象保護者数が増加したため。

**Q** 対象保護者数は。

**A** 当初は100人を予定していたが、現在20人増の120人を見込んでいる。

## 総務

### 北陸新幹線開業に伴う

#### 固定資産税の増収

-税務課-



▲開業の恩恵

### 商工業の振興を促進

#### 3事業所に助成

-交流経済課-

**Q** 対象事業所と内容は。

**A** 大徳鉄工株式会社に組み立て工場の増設で495万円、島製作所株式会社に工場の増設で1231万円、株式会社フィットテング久世に倉庫の増設で669万

円を助成する。

**Q** 返納条件はあるのか。

**A** 助成後5年の間に事業の縮小や撤退などがあった場合、返納しなければならぬ。



**Q** 固定資産税の対象は。

**A** 新幹線に係る土地、家屋、償却資産(車両や軌道、架線、電気設備、構造物)である。

車両が更新されれば増収となる。

**Q** 町の歳入としての増収額は。

**A** 1億7800万円の固定資産税増収となるが、その分普通交付税が減額となり、実質は4分の1程度である。

**Q** 税収入はいつまで続くのか。

**A** 資産がある限り続く。償却資産は少しずつ減額していくが、機器や

みなさまからの

# 請願3件を審査

**採択**

## 返済不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明  
道下 政博  
(全員賛成)

**賛成**

大学の学費が高騰している上に無利子奨学金が小さくなり、2人に1人が借金を抱えて社会人になっている。教育給付としての奨学金の確立を目指す必要がある。

竹内 竜也 議員



採択された1件の請願は  
意見書を内閣総理大臣ほか  
関係機関に送付しました

不採択となった請願

## 沖縄県東村高江の米軍北部訓練場ヘリパッド建設工事の即時中止を求める

◎請願者 津幡町越中坂

紹介議員 西村 善男  
塩谷 道子  
(賛成2人・反対13人)

**賛成**

政府による強引なオスプレイのためのヘリパッド建設は、住んでいる方の暮らしとやんばるの豊かな自然を破壊し、地方自治を壊すものであり、中止すべきである。

塩谷 道子 議員

**反対**

住民に最も身近な村長選挙でヘリパッド建設賛成を表明している村長が当選している。この民意こそ尊重すべきである。政府は対策を講じることを約束している。

角井外喜雄 議員

## 「同一労働同一賃金」の実現を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員 高谷 芳明  
道下 政博  
(賛成5人・反対10人)

**賛成**

非正規雇用労働者が4割を占め一定の職責を担う存在となっているが、勤続年数に応じた昇給も期待できない。賃金の均等待遇はすべての働く方の労働条件と社会保障の面からも重要である。

竹内 竜也 議員

**反対**

現在の賃金体系は、人の将来に対する投資である。同一労働の定義や非正規労働者の賃金をアップしたときの原資の負担など、幅広く慎重に議論されるべき問題である。

多賀 吉一 議員

# 7月会議

一般会計  
補正予算

## 3129万円を可決

(全員賛成)

一般会計総額127億3454万円に

# 町有財産を売却 庁舎整備基金に



▲役目を終えて (旧青少年の家)

○庁舎整備基金積立金  
1333万円  
旧青少年の家敷地である町有地の売却収入分を、庁舎整備のための積立金に充当する。

7月20日に7月会議を開催し、一般会計補正予算、請負契約の締結の議案2件が上程された。  
議案は各常任委員会の審議を経て可決した。

○消防庁舎改修事業費  
576万円

金沢森林組合津幡事業所跡地を消防本部駐車場および訓練場として整備する。

○電子黒板リース料  
39万円

各小学校に電子黒板を追加導入する。配置済みのタブレットパソコンに連結でき、かつ高輝度、無線LAN内蔵、画面上へのタッチパネル搭載など、最新の電子黒板である。

請負契約の締結

○町道湖東4号線(湖南大橋)鋼桁補修工事  
7635万円  
(全員賛成)

# 8月会議

# 町民の安全を守る 消防機能の強化



▲さらなる安全・安心を

8月18日に8月会議を開催し、財産の取得の議案2件が上程された。  
議案は所管の常任委員会の審議を経て可決した。

財産の取得

○消防ポンプ自動車CD  
I型 1台  
3034万円  
(全員賛成)

○災害対応特殊救急自動車  
1台  
3186万円  
(全員賛成)

## 議会を傍聴しましょう

議会の会議録は  
町議会ホームページで  
みることができます。

◎町政一般質問は年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。

お問い合わせは、 議会事務局 (Tel.288-6410)





酒井義光 議員

## 芝生化の費用を一部負担せよ

前向きに検討したい

### 津幡丘陵公園

酒井 議員

津幡丘陵公園の荒地が町からパークゴルフ場として一時利用が認められたため、町パークゴルフ協会の会員や有志により、草刈り、雑木の処理、排水路の設置、土砂の搬入により整地がなされた。町との協定では、維持管理費は原則同協会が負担するとなっているが、町として芝生化の費用を一部負担せよ。

作業に励む会員



矢田 町長

平成27年7月に協定を締結して以来、わずか1年ほどで見違えるような緑地になった。この間、町として刈払機の混合油、敷地補修の碎石などの購入費用を負担してきた。芝生化には350万円程度必要となるが、今後パークゴルフだけでなく地域住民や子どもたちが憩う場となれば、その費用の一部負担は前向きに検討したい。

## 災害時備蓄品

補充状況は

目標の確保に努めていく

酒井 議員

全国的に、防災拠点として公園にかまどベンチやかまどツールを設置する自治体が増えていますが、当町での設置は検討しているのか。

また、平成23年に東日本大震災の被災地に提供し、減少した備蓄品の補充が今でも完了していないと聞く。現在の状況を問う。

石庫 総務部長

町内には9地区の自主防災組織が管理する防災倉庫が22か所ある。この中に53基の防災用かまどが配備されており、町でもかまど2基を保有している。かまどベンチの公園への設置は、熊本地震などの活用状況を検証し、総合的に検討したい。また、備蓄品の状況は東日本大震災で課題となった保存水や乳幼児の紙おむつなどを優先したため、目標に一部届いていないものもある。今後、防災訓練などの活用数を考慮しながら備蓄品の確保に努めていく。



▲災害時に備えて

# ん質問





角井外喜雄 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっば

## 就学援助

### 新入学用品費を 前倒しで支給せよ

### 中学入学者を対象に 給付する

角井 議員

町の就学援助制度を10人に1人の児童生徒が利用している。

制服、ランドセル、かばんなど小中学校の入学準備品が必要となる時期に、保護者に対して速やかに支給し、負担の軽減を図れ。

矢田 町長

新入学児童生徒学用品費は就学困難な児童生徒にとって必要性が高いという判断から、希望する保護者に対しては、平成29年度中学入学者を対象に、最初の給付を3月までに行う。

また、小学校入学者にも入学前の給付ができるよう、認定の方法を検討したい。



▲明日もがんばろう  
(津幡中学校)

## にぎわいゾーンの 取り組みは

### 現時点で計画はない

## 町総合計画

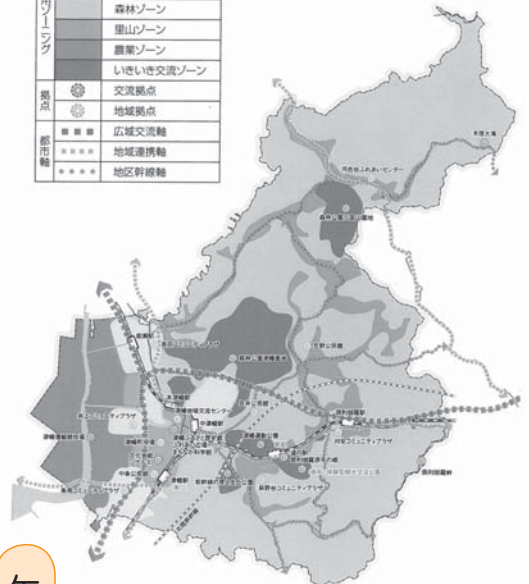
角井 議員

第5次町総合計画の基本構想で都市構造が掲げられている。

この中でにぎわいゾーンとして区分された中須加、五反田地域とJA石川かほくが運営するそくさい館周辺は農業振興地域であり、農業振興地域除外手続きを行わなければならない。今後、どのように実行していくのか。

<将来都市構想図>

凡 例	
居住・生活ゾーン	にぎわいゾーン
工業ゾーン	森林ゾーン
里山ゾーン	農業ゾーン
いきいき交流ゾーン	
交流拠点	地域拠点
広域交流軸	地域連携軸
	地区幹線軸



▲将来の都市構想図  
(第5次町総合計画)

矢田 町長

この地域は平成15年策定の都市計画マスタープランの中で、おおむね20年後までに市街地整備を行う区域と位置付けたエリアであるが、現時点で具体的な施設の建設予定や、企業の進出予定、店舗の出店計画はない。しかし、町のにぎわい創出に大きな効果をもたらす具体的な計画が持ち上がった場合、農業委員会や県に誠意を持って説明し、農業振興地域除外手続きを進めていく。



八十嶋孝司 議員

## 川井梨紗子選手の 顕彰碑設置を

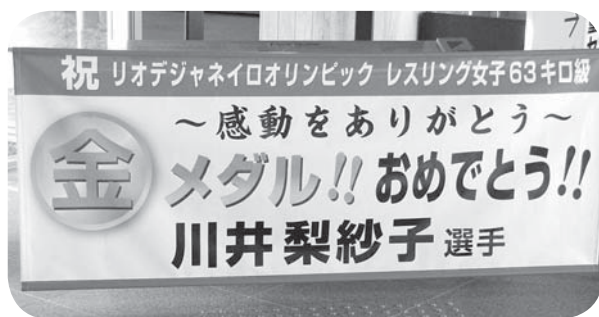
改めて相談したい

### 金メダル

#### 八十嶋 議員

リオオリンピックで、  
当町出身の川井梨紗子選  
手が女子レスリングで見  
事金メダルを獲得したこ  
とはまさに快挙で、日本  
国民に感動を与えた。こ  
の快挙は町民の誇りでも  
ある。

町として、その榮譽を  
たたえ、顕彰碑の設置を  
考えてはどうか。



#### 矢田 町長

町では、川井選手に対  
し町スポーツ賞の最高位  
である町スポーツ栄誉賞  
を贈るとともに、祝賀行  
事を行うこととしている。  
金メダル獲得は、顕彰  
碑設置に値する偉業と考  
えるが、川井選手はさら  
に4年後のオリンピック  
の活躍も期待されること  
から、改めて相談させて  
いただきたい。

## 災害用井戸

### 民間井戸を調査し登録せよ

前向きに検討する

#### 八十嶋 議員

地震など大規模災害が  
発生した場合、水道施設  
の損傷により断水が予想  
される。この間、生活用  
水確保のため民間井戸の  
活用は重要であり、災害

時協力井戸として登録す  
ることで広く開放できる。  
町として井戸の把握と  
管理状況、今後の登録に  
対する考えを示せ。

#### 柘田 環境水道部長

災害時協力井戸は、水  
道が復旧するまでの間、  
生活用水確保に大きな効  
果が望める。

町では約250件の井  
戸を把握しているが、現  
在の状態は不明なものも  
ある。

井戸の登録、活用は、  
井戸所有者へのアンケー  
ト調査や先進自治体の事  
例などを参考に前向きに  
検討したい。

#### その他の質問

**Q** 町民憲章制定への考  
えは。

**A** 慎重な議論が必要で  
ある。



▲災害時に活用を





竹内 竜也 議員



## ふるさと納税

### 収支状況は

現在のところ黒字である

竹内 議員

吉田 総務課長

住民が当町以外にふるさと納税をすると、その分個人住民税が流出する。制度発足以来、寄附の受け入れと控除額の収支はどのようになっているか。

当町でのふるさと納税の収支は、制度開始の平成20年度から27年度末までの合計で約1025万円の黒字となっている。返礼品は、町の産業の振興・活性化を目的に創設された津幡ブランド認定品を活用し、寄附者へ町の魅力を発信している。

## 評価と支援の考えは

### 子ども食堂

改めて検討したい

竹内 議員

子どもの居場所づくりとして全国的に広がる子ども食堂に対し、町はどのように評価しているか。また、実施に当たってはスタッフ、運営資金など課題が多いと聞くが、町内でも実施された子ども食堂への積極的な支援の考えはあるか。

※子ども食堂

経済的な事情などにより、家庭で十分な食事がとれなくなった子どもに、無料もしくは安価な食事や居場所を提供する活動。

羽塚 健康こども課長

子ども食堂は、ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもたちに対し、居場所づくりや孤立化を防ぎ、つながりを得ることで必要な支援につなげられ、また食事を楽しむ食育推進の観点からも有効な取り組みであると捉えている。

民間団体などが自発的に実施した場合、町としての連携や支援については改めて検討したい。



▲広がればいいね



森山時夫 議員

## 町営墓地

### 区画造成を

### 早急に進めよ

### 適地を検討したい

森山 議員

現在、町営墓地2か所の全区画は完売しており、緊急性がある墓地の購入は不可能である。

定住促進や安心な生活を目指す町の施策で、生涯をこの地でと決めた方に、ニーズに応える区画が必要である。造成計画を早急に進めよ。

矢田 町長

今後の大規模造成は考えていないが、公園周囲の空きスペースを確認して安価で造成可能な適地を検討したい。

また、更地墓地所有者へのアンケート調査の実施、合葬墓整備などにより、新たに墓地を提供できないか具体的に検討したい。



▲更地の状況は

## 現在の輪番制を見直せ

### 総合案内

### 町の重要な業務と位置付けている

森山 議員

町役場の総合案内は、第一印象が極めて高い業務である。当町のような性別、年齢を問わない正職員による輪番制度は、業務内容としてふさわしくない。雇用創出の観点からも、パート職員の雇用など勤務体制の見直しを図るべきである。

石庫 総務部長

役場庁舎内の総合案内は、年齢層、男女の区別なく役割を担うべきと考えている。また、職員においては研さんの場となっており、町の重要な業務と位置付けているため、正規職員の役割としている。しかし、職員の業務量の増大、業務の高度化・専門化が進むなど状況は変化しており、専従嘱託職員への転換も検討したい。



▲庁舎内の総合案内





森川 章 議員

産業振興

町商工会との連携は

経営発達支援計画に積極的に協力したい

森川 議員

昨今の厳しい経済状況により、当町でも老舗業者の廃業が目につく。住民が町外での消費行動を増やせば、その分町内での消費が減り、町の活力に影響を及ぼす。町商工会との連携も含め、今後の産業振興策についてどのように考えているのか。



河上 産業建設部長

優良企業の誘致活動を引き続き展開するとともに、新たな創業者はもちろんで、既存産業への支援も行っている。経済産業省から町商工会が認定を受けた経営発達支援計画に積極的に協力し、小規模事業者の経営促進、販路開拓、持続的発展を支援するなど、商工業の健全な発展に寄与していきたい。

伝統文化

記録映像を残し

後世へ伝えよ

獅子舞など映像化されている

森川 議員

祭りや伝統芸能を後世に受け継いでいくことは重要である。

しかし、担い手不足により、地域の伝統文化の継承が困難となっている。いくべきだ。

竹田 教育部長

「津幡の獅子舞 伝統の舞と形態」というDVDを過去に作成している。また、萩野台太鼓振興会による東荒屋虫送り太鼓の記録映像がすでに作成されている。

既存の映像の活用方法は、現在行っている図書館での貸し出しに加え、伝統芸能の存続に寄与できるよりよい方法を検討していく。



▲伝統を受け継ぐ獅子舞（河合谷地区）



道下政博 議員

## インターネット健診を 導入せよ

調査、研究していきたい

### 健康診断

道下 議員

さまざまな理由から健康診断を受けていない方が多いが、生活習慣病の重症化につながる危険性がある。  
健診率の向上を図る手段として、自宅にいながらインターネットを活用し、血液検査ができるシステムを導入せよ。



◀健診を受けよう

小倉 町民福祉部長

自宅にいながら健診できると手軽さは魅力的であり、身体の状態を知るよい機会であると考えます。  
しかし、健診データが郵送されただけでは健診に対する具体的な改善策が分からないため、データとあわせて健康相談、保健指導も必要である。  
先進自治体の実績、効果などを含め、調査、研究していきたい。

## 個人番号

### カード申請機能付き 証明写真機の設置を

申請状況を見極めたい

道下 議員

高齢者や多忙な方にとっては申請手続きが負担になるため、個人番号カードの交付を受けていないことが多い。  
民間業者による申請機能付き証明写真機は5分足らずで写真撮影、申請手続きを完了することができる。カードの普及を促すためにも、役場庁舎内に設置せよ。

石庫 総務部長

申請機能付き証明写真機の設置は、わずかなスペースを有効活用でき、設置費用、維持管理費もかからないことから意義あるものと考えている。  
個人番号カードの申請状況などを見極めながら、関係業者に対し働きかけたい。



▲申請手続きが簡単に  
(かほく市内)

### その他の質問

- Q** 未来への投資を実現するための経済対策は。
- A** 国の補正予算を積極的に活用していく。
- Q** バークユー観戦を定着させ、つばたレガッタの発展につなげよ。
- A** 広報の充実により参加チーム、観戦者の増加につなげたい。
- Q** 介護休業制度の周知徹底を図れ。
- A** 町商工会等と連携し、町内事業所にも知らせたい。





西村 稔 議員



▲気軽に相談を

津幡署管内でも、架空請求や振り込め詐欺による被害、その他の消費者トラブルが増えている。当町では、消費生活相談室を設置し専任の相談員を置いているが、相談内容や被害の実情を踏まえた対応をするために、どのような取り組みが行われているのか。

### 消費者被害

## 取り組みを示せ

### 相談対応のスキルアップを

### 図っている

西村 議員

山崎 交流経済課長

相談員や担当職員が、県や国民生活センターが実施する研修に参加し、最新の相談事例や法改正の情報を取り入れ、相談対応のスキルアップを図っている。

平成28年度から、消費者に最も近いところで情報提供や見守りなどを行い、必要に応じ相談室につなげる役割を担う消費生活サポーターの養成事業を開始している。これまでに約50名の方を認定した。

## 堤防のかさ上げ、排水対策は目標治水安全度に達している

### 津幡川



▲整備された津幡川

西村 議員

津幡川の下流域は天井川となっており、豪雨の際は、堤防の決壊による甚大な被害が想定される。堤防のかさ上げ、補強、排水対策について、河川管理者である県への要望も含め、検討しているのか。

岩本 都市建設課長

県が作成した大野川水系整備計画によれば、津幡川は改修が完了した河川で目標治水安全度に達しており、現時点では改修整備計画はないと聞いている。

当町としては、現地を確認した上で軽微な破損箇所の補修を含め、これまでも県に要望をしている。

### その他の質問

**Q** 中山間地域の救急出動に際し、医師の搭乗を検討すべきだ。

**A** 通報内容だけで、その疾患に対応できる医師を現場に向かわせることは困難だ。



塩谷道子 議員

## 閉鎖後の診療体制は

### 河北中央病院を 利用していただきたい



◀地域医療を担ってきた  
河北中央病院

### 河合谷診療所

塩谷 議員

平成29年3月には、河合谷診療所が廃止される。街中から遠く、移動手段の確保が困難な高齢者が多く住む地域のため、診療拠点がなくなれば急病時が不安となる。巡回診療など閉鎖に対する代替措置と、街中の医療施設へ通院する際の交通手段を確保せよ。

### 小倉町民福祉部長

診療所廃止後は、河北中央病院を利用されるよう案内をしている。現在、同病院では訪問診療は行っていないが、当町における地域医療の中核としての役割を果たすべく、その必要性は認識しており、今後の検討事項となっている。同病院までの交通手段は、町営バスや福祉バスの利用をお願いしたい。

## 医療・介護保険

### 制度改正に反対する

### 声明を出せ

### 現在審議中であり

### 意見を述べるべきではない

塩谷 議員

矢田 町長

厚生労働省社会保険審議会では、医療費窓口負担の増大や介護保険の給付縮小につながる議論が行われている。

このまま制度改正が行われれば、医療機関の受診を控えたり、介護サービスの利用を断念せざるを得ない方も出てくる。政府に対し、町長会を通じ、町民に負担を強いる制度改正に反対する声明を出すべきである。

医療および介護保険制度に関しては、国の専門機関で現在審議中である。その内容が明らかにならない以上、町長会を通して政府に意見を申し述べることはできない。

しかし、町としては町民が今後も住み慣れた町で安心して暮らし続けることができるよう、介護保険における地域支援事業をはじめ、各種施策の充実に努めたい。



▲介護用品は必需品

### その他の質問

Q 健診受診者を増やすための方策は。

A はがきや電話での受診勧奨を実施している。

Q 再生可能エネルギーへの取り組みは。

A 町浄化センターに小水力発電装置を設置する計画である。

Q 町独自の学力テストは中止すべきだ。

A 有効性が認められることから、引き続き実施していきたい。





井上新太郎 議員

▶育ちを支える教育現場  
(津幡南中学校)



教育現場では指導要領を十分に理解し、見通しを持って教育活動を進めていくことが大切である。柔軟な解釈が行き過ぎれば指導要領から逸脱することになりかねず、公立学校では慎重であるべきと考える。地域性、伝統を反映した特色ある学校づくりは必要であるが、あくまでも指導要領を踏まえなければならない。

吉田 教育長

教育長は、ゆとり教育から脱ゆとり教育へと指導要領が変遷する過程において教育現場を経験されてきたが、その所感は、また、指導要領を柔軟に解釈し、学校が独自のカリキュラムを創造する時代とも言われるが、これに対する所見は。

井上 議員

学習指導要領

柔軟な解釈が必要ではないか

公立学校では慎重であるべきだ

若年人口の流出をどう防ぐ

定住促進

子育て環境の充実に努めている

井上 議員

第5次町総合計画では、平成37年の将来人口を3万7500人と設定している。しかし、人口移動の推計では、1万人規模での激減予測もある。人口増・維持を図るため、若年人口の流出を防ぐ取り組みを示せ。

納口 企画財政課長

オーダーメイド方式による企業誘致、創業支援、6次産業化の促進のほか、津幡駅東口の整備に向けた調査に力を注いでいる。また、保育料の軽減、学童保育施設の充実など、子育て環境の充実にも努めており、今後さらに町の魅力を向上させ、若者の町外流出を抑制したい。



▲新築が目立つ街中

# 先進地に学ぶ

## 委員会視察レポート



### 議会広報調査

#### 特別委員会

7/11~12

広報編集技術と

大河ドラマ誘致を学ぶ

(山梨県昭和町)  
(長野県上田市)



▲活発な意見交換（昭和町議会）

#### 〔視察の目的〕

より親しまれる議会だよりとするため、平成23年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した山梨県昭和町議会の議会だより作成のノウハウを研修する。

#### 〔研修内容〕

また、現在放映中のNHK大河ドラマのゆかりの地である長野県上田市で、誘致後のメリットなどを視察する。

#### ・昭和町議会

昭和町議会は、積極的に地域に出かけ、住民の声を聞く取り組みをしており、その姿勢が議会だよりに生かされている。若者への発信も熱心で、SNSや学生とのワークショップなどを行っている。当町の議会だよりへの的確なアドバイスをいただいた。

#### ・真田氏歴史館（上田市）

戦いの足跡や武器甲冑など、真田一族に関する資料が展示された資料館である。大河ドラマの影響は大きく、道路が渋滞するほど来館者は増えたとのことであった。

### 研修報告

7/13

視察受入

山形県南陽市議会

産業建設常任委員会  
観光ボランティアガイド「つばたふるさと探偵団」についてなど

7/15

視察受入

三重県東員町議会

議会運営委員会  
議会改革、通年議会について

7/26

研修会

石川県町村議会議長会

議長・副議長・委員  
長研修会  
「議会への住民参加について」  
講師 田口一博氏

7/29

視察受入

京都府南丹市議会

総務常任委員会  
移住・定住促進施策についてなど

8/8

研修会

河北郡市議長会

議員研修  
航空自衛隊小松基地視察

8/17

研修会

石川県町村議会議長会

議員・監査委員合同  
研修会  
「今後の政局・政治展望を探る」  
講師 末延吉正氏

9/1

意見交換

金沢市議会

連携中枢都市圏・都市交通特別委員会  
連携中枢都市圏における公共交通ネットワークの充実について



# 追跡 あの質問のゆくえ



▲涼くなった教室

## 小中学校の熱中症対策を問う

平成27年9月会議 森川 章議員

近年の夏季気温は大変に高く、あまりの暑さに学校では熱中症対策が追いついていない。健康管理や教育環境上、問題がある。

クーラーなどの空調設備の改善が必要であるが、緊急措置として各教室に扇風機を設置するなどの最低限の改善を求める。

### 答 弁

## 扇風機の設置を検討する

児童生徒や教職員の健康を維持し、安全・安心な教育環境を確保するため、まずは扇風機の設置を検討する。

国の交付金事業などの動向を見定めながら、財源確保が可能であるならば、エアコン設置の検討を行っていききたい。

### その後

## 28年6月に扇風機を設置

平成28年6月に、町内小中学校の普通教室に計241台の扇風機を設置した。

7月から各教室で扇風機が使用できるようになり、夏季の学習環境を改善することができた。

今後も、よりよい教育環境を確保するため施設整備に努めていく。

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

## 広報紙を閲覧できる

### 情報アプリを採用せよ

平成27年12月会議 道下政博議員

スマートフォンなどの情報端末アプリを使い、自治体広報紙を簡単に閲覧できるサービスが広がっている。

読者層を若者世代に拡大するためにも、情報アプリを採用せよ。

### 答 弁

## 導入を検討している

広報つばたの電子化は平成24年から実施しており、発刊日から町ホームページで閲覧可能となっている。

情報端末アプリを使って広報紙を閲覧できる仕組みは、より積極的な情報提供を図る上で有効な手段であり、導入を検討している。

### その後

## 28年4月から導入スタート

平成28年4月から、情報端末アプリ「i広報紙（現在はサービス名を変更し、マチイロ）」を導入し、広報紙や議会だよりをスマートフォンやタブレットで読むことができるようになった。

このアプリでは、発刊当日に最新号データが届くほか、気になる記事を切り抜いてSNSで共有・拡散できるなど、読者層の拡大が期待できる。



# マチイロ

App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。



津幡町HP携帯版

# みんなで楽しくやってみます!!

## 萩の会

### サークル紹介第28回

お稽古に励んでいます

代表 おおにし やすこ  
大西 保子



私たちの萩の会は、第2・4の金曜日に会館で、吉尾先生に裏千家のお茶を習っています。

きっかけは、おいしいお菓子とお茶を飲みたいと。でも、お茶には作法があり、お茶席での最低限のマナーを習いたいと。何も知らない初めのころは、ドキドキしながら

隣や周りの人たちの作法をまねしながら、お手前を頂戴いたしました。そんな私たちですが、先生のおかげで今では四季折々のお道具やお茶碗、掛け軸、その他いろいろとても楽しませていただいています。

お菓子とお花は、当番制でお当番さんが準備します。大変ですが、私たちにはお菓子とお花はとても楽しみです。

活動は、地区の敬老会、ごぞつさい祭り、町の文化祭のお茶会や県森林公園のお茶会のお手伝いをさせていただいています。

- ◆活動場所と時間  
☆別所会館  
毎月第2・4金曜日  
20時～
- ◆連絡先  
☎288-11467  
(大西)

## ディスカバー つばた⑱

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

### ふせん ～斉藤不染の碑（湯端）～



湯端区に、村の窮状を救った斉藤不染の顕彰碑があります。1856（安政6）年、長雨で河北潟が冠水して稲田が腐敗し、疫病が流行したとき、不染は自分の米蔵の米を村人に分け与え、藩に願い出て救済の手段をとりました。また、南中条の八幡神社横から井戸水を引いて湯端集落の20数戸に飲料用として配水したり、細く曲がっていた湯端・南中条間の道路を改修した功を記念しての碑です。

## 表紙の題字は

中条小学校6年  
小松 錦葵さんの作品です。

津幡町は、河北潟や森林公園など自然がたくさんあるステキな町です。  
この前もリオオリンピックで川井選手が金メダルをとるなど、本当に自慢できるいい町です。



## 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
  - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
  - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。
- 皆さまのご理解とご協力をお願いいたします**

## あとがき

リオデジャネイロから届いた感動の余韻に浸る暇もないままに編集を終えました。自己と向き合い、失敗すべからぬかのように極限まで挑むアスリートたちの姿から、挑戦し続けることの大切さを学んだ気がします。

- 皆さまに議会のありのままの姿をお伝えすべく、前号から新たな取り組みを始めたところですが、これからも議会だよりは挑戦し続けます。
- 編集委員長 塩谷 道子  
副委員長 荒井 克  
委員 竹内 竜也  
井上新太郎  
八十嶋孝司  
森山 時夫  
(竹内)